

京都府

派遣費用は無料です

ダブルケア ピア・サポーター



派遣事業をご活用ください

育児と介護を同時に行うダブルケアラーは、経済的・精神的・身体的にとっても大きな負担を抱えています。京都府では、ダブルケアに直面する人が育児や介護に前向きに取り組めるよう支援するため、「ダブルケア ピア・サポーター」の派遣事業を行っています。

こんなとき、ダブルケアピア・サポーターを活用してみませんか？

◆ダブルケアカフェを開催するとき◆

ダブルケアラーやその支援者が集い話す場所「ダブルケアカフェ」。ピア・サポーターは、ダブルケア経験者としてダブルケアラーの悩みに寄り添い、必要に応じてアドバイスをすることができます。

◆会議や勉強会を実施するとき◆

地域包括支援センターでのケア会議や、子育て分野・介護分野の会議、勉強会をするとき、**ダブルケア経験者**ならではの視点から意見を聞くことができます。

◆子育てひろばや認知症カフェを開催するとき◆

子育てひろばや認知症カフェなどで、気軽に相談できる時間を設けることで、潜在**ダブルケアラー**に気づききっかけに。さらに、まだ**ダブルケアラー**でない人にとっても、突然やってくる**ダブルケア**について事前に知ってもらえる機会となります。



ダブルケア ピア・サポーターとは

自身のダブルケアの経験を生かし、ダブルケアで悩む方の不安や悩みに寄り添い、必要な情報提供や生活上の相談に乗るための基本的な知識やピア・サポートの技術を身につけた人材。令和2年度末までに、京都府内で約30名の方が養成講座を修了・認定。

お問い合わせ先

きょうと子育てピアサポートセンター

TEL : 075-692-3444 E-mail : kodomo@pref.kyoto.lg.jp

申し込み方法

必要書類をきょうと子育てピアサポートセンターまでご提出ください。

* 派遣費用は不要です。
派遣に係るピア・サポーターの交通費は府が負担します。詳しくはコチラ→



ご存じですか？育児と介護のダブルケアラーのこと

ダブルケアラーは全国で
約25万人
京都府で**約5000人**
と推計

ダブルケアを理由に
仕事を減らした人・
無職になった人は
女性の約4割
男性の約2割

介護をしている
約20組に1組
がダブルケアラー

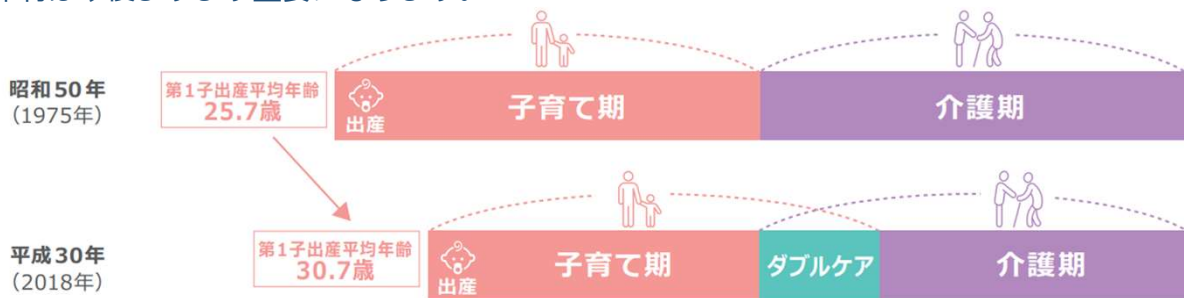
2025年に団塊の世代
が75歳以上に達し、
ダブルケアラーがさらに
増加の見込み

「ダブルケア経験者が、
地域で直接相談にのって
くれること」が必要だと
思う人は
78.8%

「ダブルケア当事者がつ
ながる場を、地域でつく
ること」が必要だと
思う人は
72.8%

ダブルケアラーへの支援は今後ますます重要に！

晩産化、高齢化等の要素が重なり育児と介護のダブルケアラーはどんどん増える見込みで、ダブルケアラーへの支援体制は今後ますます重要になります。



注：第1子出産平均年齢は、厚生労働省「平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況」によります。

京都府内のダブルケア支援の取り組み



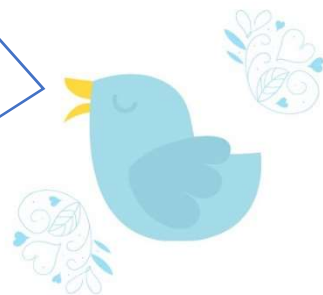
2か月に1度、ダブルケアラーの人、ダブルケア経験者やダブルケアに関心がある人達が集まって、日ごろの想いや悩みを出し合ったり、利用出来る制度などの情報提供を行う「ダブルケアサロン」を開催しています。

問合せTEL : 0771-56-8085

亀岡市 子育て世代包括支援センターBCome

「ともだちに育児の相談はできても、介護の相談はできない。」
『まいづるダブルケアの会 えくぼ』は、そんなダブルケアラーさんの声から生まれました。令和3年度より月に1回、「ダブルケアカフェekubo」を開催しています。ひとりで悩まない、頑張りすぎないように、リラックス&リフレッシュしながら情報交換をしています。ダブルケアカフェ開催時には、ダブルケア・ピアサポーターも参加し活躍しています。現在ダブルケアをされている方はもちろん、これから介護が始まるかもしれない若い世代の方も、介護に興味がある方からのお問い合わせもお待ちしています。

ホームページ <https://wcare-ekubo-maizuru.jimdofree.com/>



舞鶴市
まいづるダブルケアの会えくぼ